

### 神奈川県本部

〒231-0025 横浜市中区松影町2-7-12飯田ビル  
TEL: 045-663-4061 FAX: 045-663-4062  
メール: nenkinanagawa@nifty.com

8月5日現勢 組合員 10,111名  
機関紙 6,244部  
年金改善署名 77,712筆



神奈川県版 第276号 2011年8月15日

### 全日本年金者組合中央本部

〒170-0005 東京都豊島区南大塚1-60-20天翔大塚駅前ビル  
TEL. 03 (5978) 2751 FAX. 03 (5978) 2777  
発行人 篠塚多助 月刊1部100円 送料70円  
昭和57年6月30日第三種郵便物認可



神奈川県年金者県本部から237人が参加

## 原発はやめて 原発ゼロをめざす7・2緊急行動

### 20000人が会場を埋める

「原発ゼロをめざす7・2緊急行動」が7月2日、東京・明治公園で開かれ、会場は2万人を越す人で埋め尽くされました。ステージでは福島県代表の被害の実体、静岡や愛媛などの原発を抱えた地域の不安と運動を広げる決意、横須賀の原子力空母の原子炉も原発と同じだ。子どもを抱える母親の不安など、各界の発言が続き、共感の声と激励の拍手が湧きました。集会後「原発ゼロ」を訴えながらパレード。都庁までの4キロは組合員にはきつかったですが、孫子のためにしっかり歩きました。(小宮山泰子)

「楽しくなければ年金者組合ではない」が Motto としても、高齢者や病弱などで、サークルに通えない独りぼっちの組合員さんもいます。

## バスは高齢者の足

### 料金・設備改善が切実 各支部で活発な取り組み

神奈川県西・北部は交通の主力はマイカーかバスです。高齢者の足はバスに限られており、バスの減額と安全設備の充実が切実な願いです。愛川支部では05年12月に神奈川県中央交通発行の敬老バス「かなちゃん手形」に対する町の助成を要望し、議会を含めねばり強い運動で07年から年間9000円のかなちゃん手形に7000円の補助が行われ、お年寄りから大変喜ばれています。厚木市でも年金者組合が頑張り、愛川同様の7000円補助が毎年継続されています。



一方、平塚市では高齢者バスの援助を打ち切つてしまいました。藤沢市でも昨年まで神奈中の5000円回数券に対し3500円の補助をしていましたがバス会社は回数券を廃止して、パスモに切り替えたことを理由に補助を打ち切り、交通援助はありません。鎌倉支部はバスの乗降

### 楽しいおしゃべり ミニハイクやお料理も 茅ヶ崎ぼっこの会 独りぼっちをなくす

で安全確保のため、バスを歩道に付けて止めるよう京急、江ノ電、神奈中に文書で申し入れ、神奈中を除き前向きな返事が来ました。県本部は支部と協力して、神奈川県中央交通などの、バス料金の助成、設備改善に統一して取り組みを強める方針です。



毎回の参加者は6、7人で月に2回集まっています。ぼっこの会は何かをしなければという決まりはありません。たわいもないおしゃべりや、得意分野の人がその都度先生役で料理、ケーキ、小物作りをすることもあります。また気候の良い日にミニハイキングも。

### 原発はなくしてほしい 日本母親大会に6人参加

7月30・31日の両日、「核兵器をなくそう」原発をゼロに」をスローガンに、広島市で開かれた日本母親大会には、県本部から6人が参加しました。

1日目の全体会は全国から8500人が集まり、オープニングでは湯浅誠さんが、いまは就活、婚活、生活、の三つの生きるための活動があるが、社会状況が悪くなるとやるのが難しくなる。40歳代前の男性の死因の1番は自殺であり、就活に疲れ、結婚も出来ず、生きる活動も

「核兵器をなくそう」原発をゼロに」をスローガンに、広島市で開かれた日本母親大会には、県本部から6人が参加しました。不安になってくる。まさに今、生きることが難しいと話されました。震災復興を進めている福島から参加した二人の子の若いお母さんは、放射能汚染の不安で毎日を過ごしていると、涙ながらに訴えたことは深く印象に残りました。



(横浜中・村田泰子)

## 青春時代を軍服で

### 北千島終戦から66年

寄稿

元陸軍航空隊通信兵 白崎勇次郎(藤沢)

大正15年生まれ私の私軍国主義教育の優等生で、昭和17年、天皇のために喜んで死ぬと勇躍入隊しました。

太平洋戦争敗戦の玉音放送は日本の最北端だった北千島占守島で聞き、その3日後ソ連が攻めてきました。

私は哨壺の最前列に飛び込み、ソ連軍戦車の来るのを今か今かと待ち構えていました。いくら待ってもソ連軍戦車は姿を見せません。停戦協定が成立していたのです。ソ連軍によって武装解除され、カムチャッカ・南樺太での3年間の捕虜生活を経て、昭和23年10月に復員しました。

人の一生で最も楽しかるべき6年間の青春時代がカーキ色の軍服を着せられて終わりました。

### 告示

神奈川県本部第二十三回定期大会を左記の通り開催します。

一、日時 九月二〇日(火) 午前十時より

二、場所 労働プラザ

一、議題

- ①二〇一一年度運動方針(案)
- ②決算・監査報告および新年度予算(案)
- ③役員選出
- ④その他

二〇一一年八月一日 執行委員長 田島 茂

### 告示

神奈川県本部第二十三回定期大会で二〇一一年度の役員選挙を左記の通り実施します。

記

一、役員定数

- 1、執行委員長 一名
- 2、副執行委員長六名
- 3、書記長 一名

二、立候補届は別紙様式により九月八日十三時までに選挙管理委員会まで提出願います。

二〇一一年八月一日 選挙管理委員長 高山正義

8月20日、通信隊にも「ソ連軍上陸地点での我が守備隊は全滅せり。ソ連軍重戦車を先頭に敵大部隊が飛行場めざし進軍中、通信隊は歩兵部隊に合流し、最後の突撃を敢行せんとす」の命令が届けられました。

私は哨壺の最前列に飛び込み、ソ連軍戦車の来るのを今か今かと待ち構えていました。いくら待ってもソ連軍戦車は姿を見せません。停戦協定が成立していたのです。ソ連軍によって武装解除され、カムチャッカ・南樺太での3年間の捕虜生活を経て、昭和23年10月に復員しました。



# 9月はアウトドアの季節 ミニハイイクでより健康に

9月はアウトドアの季節。自然を満喫して体も心も健康になってください。そこで、県本部旅のサークルや、横浜中、鎌倉、厚木支部がお勧めの一泊の旅と、ミニハイキングを紹介します。

## 雄大な白馬を満喫 格安の青春18キップで

### 9月7日～8日 募集中

初秋の白馬はすばらしい。そこで県本部サークル「旅を楽しむ会」がJRの「青春18きっぷ」を利用して、白馬連峰一泊の旅にでかけることにしました。なにしろJR交通費が通常特急利用で、横浜から往復1万5550円かかるところが、わずか4600円と1万9000円も激安。各駅停車でのんびりの旅ですが、車中でのおしゃべりや、おやつと一杯も

楽しく、高齢者にはもってこいです。

白馬は標高1850メートルの山小屋、白馬村営八方池山荘に泊まります。ここからの眺めは



## 「コクリコ坂」から歩いて 異国情緒豊かな横浜山手

今回、いま上映中の「コクリコ坂から」のモデルと云われる代官坂から山手歩き、イタリヤ山庭園まで行きました。コクリコとはフランス語で日本名はヒナゲシという可愛らしい花のことです。1960年代の主人公たちが住む下宿屋は和洋折衷の建物で、現在でも山手歩きと洋館風の建物が多く、教会や外交官の家などが点在し、異国情緒豊かで、歩いていて心地がゆつたりしてきます。



また、横浜には開港と同時に外国人居留地が出

## 観光バスも来ない 静かな古都鎌倉 源氏山・扇が谷コース

鎌倉の源氏山・扇が谷（おおきがや）はJR鎌倉駅から寿福寺（鎌倉五山三位の寺、源実朝、北条政子、高浜虚子、大佛次郎の墓がある）英勝寺（太田道灌の屋敷の後に立つ尼寺）海蔵寺（庭が美しい）化粧坂切り通し（けわい

## 彼岸花に囲まれた 伊勢原の日向薬師

### 帰りは一風呂でサツパリ

曼珠沙華、幽霊花、彼岸花など呼び名はいろいろですが、秋のお彼岸ころにあぜ道や野辺に赤い花が咲きそろいます。空気も澄み、心地よい秋空のもと伊勢原日向薬師と彼岸花、そして温泉入浴のミニハイイクはいかがでしょう。

日向薬師は日本三大薬師のひとつです。鈍彫の本尊薬師如来三尊像をはじめ、25点の重要文化財



## 被災者も元気に 相模原支部がバーベキュー

「仲間増やし、震災被災者激励」をと、5月26日、相模原支部が大島キャンパスでバーベキュー大会を開催。福島県双葉郡富岡町に住んで居たが原発事故故勧告を受け、家族4人避難した坂本信さんは、奥さんと息子、娘さんで親戚、知人も居ない全く知らない所に来てそのような時に同団地に住む組合員太田さんの誘いを受け参加。いろいろな人との出会い、繋がりを感謝します。先の見えない生活、今日皆さんのパワーを貰い一日一日大切に頑張ります。と坂本さんは話していました。

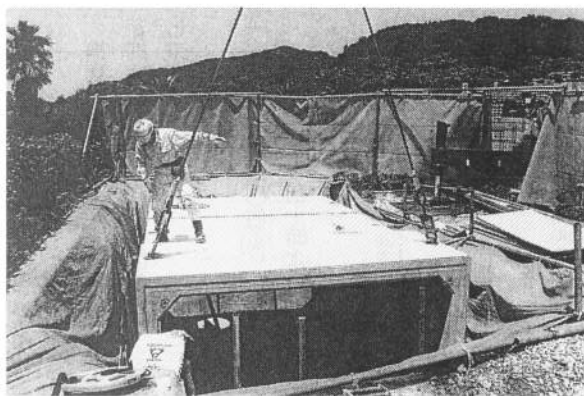


- ### 神奈川年金者文芸
- (俳句)
- 平塚支部 坪井 稔恭
  - 放射能数値はいかに海開
  - 平塚支部 高橋 福松
  - この彩が好きで狭庭の濃紫陽花
  - 平塚支部 寺田 公明
  - 談笑の声賑わえり夏座敷
  - 茅ヶ崎支部 鈴木右工門
  - 夏蒲団孫来て昔話かな
  - 磯子支部 土志田公佳
  - 隣家より届きし鮎のながみよし

- (川柳)
- 旭支部 本間鈍根花
- 小口株原発ノ一は否決され
- 川崎麻生支部 阿部 和子
- 「水代」一人100万我も欲し
- 横浜緑支部 吉田 一夫
- 生活へ牙TPPの大津波
- 旭支部 毛利やすひこ
- エサ薬で放射能汚染の規模を知る
- 茅ヶ崎支部 小室ヒロシ
- 放射能知らず雨乞いする蛙
- 横須賀支部 山田 良夫
- 落ちこみを笑うがように大の虹

## 共同墓所 申込者は300人を超す

組合創立 20周年記念 第二次募集は8月31日 行っています。事業として進められている、共同墓所建設事業は申込者が300人を超え、新規組合員も24人増えました。工事も急ピッチで進んでいます。完成祝賀会を11月11日(金)に行います。第1回墓前祭は11月18日(金)に中央本部や友好団体の来賓と支部代表による完成祝賀会を11月11日(金)に行います。第1回墓前祭は11月18日(金)午前11時に開催します。墓前祭に先立ち11人様の納骨を予定しております。午後からは、よこすか平安閣に場所を移し、懇親会を開きます(会費3千円で任意参加)。



工事が始まった納骨室の設置作業